



名古屋市立大学 看護学部・大学院看護学研究科

入学案内2024



2025年度（令和7年度）より
看護学部は医学部保健医療学科
看護学専攻に組織改編する予定
です。



名古屋市立大学
大学院看護学研究科・看護学部
NAGOYA CITY UNIVERSITY
Graduate School of Nursing
School of Nursing



Contents

看護学部

教育理念/教育目標	
アドミッション・ポリシー	
カリキュラムの概要	3
学びの環境/PICK UP 授業	4
看護学部の4年間/川澄祭	5
クラブ&サークル/国際交流	6
先輩からのメッセージ	7
奨学金制度/授業料減免制度	
卒業後の進路/国家試験合格状況	8
入試情報/データで見る看護学部生	9

大学院看護学研究科

教育理念/教育目標	
アドミッション・ポリシーと各領域・教育研究分野	
コースの編成	10
(博士前期課程)	
授業科目の特徴/修了要件	
年間スケジュール	11
大学院生活の実際	
データで見る大学院生	12

(博士後期課程)

授業科目の特徴/履修方法及び修了要件	
年間スケジュール	
これまでの博士論文題目の例	
在学生からのメッセージ	13
教育研究分野について	14
修了生からのメッセージ	
大学院修了直後の勤務先の種類・職種別一覧	
大学院を目指す方へ	15

ごあいさつ

一人ひとりを尊重し高い倫理観をもった看護職者の育成を目指します。



看護学部長
看護学研究科長
明石 恵子

看護学部・看護学研究科は、豊かな人間性と高い倫理観を併せ持ち、保健・医療・看護分野で活躍し、地域や社会に貢献できる人材を育成することを目指しています。

看護学部は1999年に創設されました。2023年4月には名古屋市立中央看護専門学校と統合し、1学年の定員が80名から120名になりました。教員も増員し、より充実した教育を提供できるよう体制を整備しているところです。学士課程では、総合大学の強みを生かして、教養教育で人間の理解や人に寄り添う看護に役立つ知識や感性などを身につけることができます。医学部・薬学部の学生とともに取り組む地域参加型学習では、医療者としての資質を高め、課題解決能力を修得します。専門教育では、看護の基本的な理論や技術、人間の成長発達、健康障害とその治療・看護、保健医療システムなどを学びます。演習や実習では、大学病院等の看護職から直接指導を受け、臨床現場に即した知識・技術・態度を修得します。また、選抜された学生は、公衆衛生看護活動に必要な理論と実践を学び、保健師国家試験受験資格を取得することもできます。さらに国際交流活動として、韓国のハルリム大学などとの交流授業や短期海外研修などに参加することもできます。

大学院看護学研究科は、2003年に博士前期課程、2005年に博士後期課程が設置されました。2008年には国公立大学初の大学院での助産師教育を開始しました。また、2007年にクリティカルケア看護専門看護師教育コース、2012年に精神看護専門看護師教育コースを設置しました。他研究科や他大学大学院との単位互換制度もあり、高度な専門性と学術的視点を備えた研究者・職業人を育成しています。長期履修制度や昼夜開講授業を取り入れ、在職のまま学修を継続できる環境も整えています。修了生は、大学教育や看護実践の場で活躍しています。

桜山キャンパスには、医学部・医学研究科と名古屋市立大学病院が併設されています。恵まれた環境が一層、学生の皆さまのモチベーションを高めてくれることでしょう。卒業・修了時には、幅広い学識と研究心を兼ね備え、人を尊重し高い倫理観をもち、人々の健康に貢献できる看護職者、看護研究者として成長されることを期待します。

教育理念

教育目標

人間の尊厳を理解し、看護を通じて保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成する

- 幅広い教養を育み豊かな人間性を養う
- 科学的根拠に基づいて判断できる力と社会の変化に対応できる実践力を養う
- 保健医療サービスを受ける人々や提供する側の諸職者との協力的関係を調整する力を養う
- 地域的问题から国際的问题まで幅広い視野を持って人々の健康を考える力を養う

アドミッション・ポリシー

看護学は、人々の健康を生活の側面より支えることを学ぶ学問です。
看護学部では、次のような人を求め、入学を歓迎します。

《求める学生像》

- 看護学に興味があり、将来、看護に関する仕事を通して社会に貢献したいと考える人
- 目標に向かって新しいことを意欲的に学ぶ姿勢をもっている人
- 人に対する温かい態度と物事を客観的に捉え判断することのできる冷静さを併せ持っている人
- 人とのかかわりをいとわず、様々な背景をもつ多様な文化を尊重し、他者への思いやりをもっている人
- 理系および文系科目を幅広く履修し、多様な側面をもつ看護学を修得するための十分な基礎学力を身につけている人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ◇**理系および文系科目の幅広い知識と、看護学を修得するための十分な基礎学力**
 - 看護学は、医学や薬学をはじめとする自然科学系の学問や、人との関係や家族や社会との関わり、様々な制度など、人文科学や社会科学に関する内容を専門基礎としての位置づけで学習します。
 - そのため、入学には、高等学校卒業までに修得すべき基礎学力を偏りなく、幅広く身につけておく必要があります。
- ◇**他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力**
 - 看護の対象は様々な年代や健康状態にあり、自分とは異なる多様な背景を持つ人です。
 - 他者と良好な関係を築くためには、相手の考えや気持ちを理解することに加え、自分の考えを言語化しそれを適切に伝えられることが必要です。
 - そのため、国語および英語などによる基本的なコミュニケーション能力を身につけておくことが求められます。

《選抜方法》

看護学部のアドミッション・ポリシーにある《求める学生像》、《修得しておくべき知識等の内容・水準》に示した十分な基礎学力については、いずれの選抜方法においても、大学入学共通テストを課すことによって確認します。

◇一般選抜・前期日程

大学入学共通テストに個別学力検査およびグループ面接を加えて、十分な基礎学力を確認するとともに、《求める学生像》にある資質、《修得しておくべき知識等の内容・水準》に示した他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力を確認します。

◇学校推薦型選抜B

大学入学共通テストに志願理由書および学校長からの推薦等の出願書類等を加えて、十分な基礎学力を確認するとともに、《求める学生像》にある資質、《修得しておくべき知識等の内容・水準》に示した他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力を確認します。

カリキュラムの概要

- 看護研究
- 看護学実習
- 専門科目
- 教養科目
- 保健師科目

	1年生	2年生	3年生	4年生	
蓄積される学習内容			研究方法を学び看護を探究する	国家試験	
			看護管理に関する実習		
			対象の特性と健康障害に応じた看護を実践する実習		
		基礎的看護を実践する実習	看護や保健医療のシステムを学ぶ		
		生活や療養の場に応じた看護を学ぶ			
		健康障害の特徴に応じた看護を学ぶ			
		援助的関係を築く実習	発達に伴う健康問題と看護を学ぶ		
		看護学の基本的な理論と技術を学ぶ			
		健康障害とその治療方法を学ぶ			
		人間の身体的・心理的・社会的特徴を学ぶ			
	医療人としての素養の習得		保健師国家試験受験資格取得科目（選択制）		
	人間としての総合的な力の育成				
	学年				

* 国家試験：看護師は全員、保健師は選択者。

看護職者にふさわしい能力と態度を養い、必要な基本的知識と技術を身につけるため、授業では看護学だけでなく、医学や疫学などの専門科目も学びます。また、看護学は実践の学問であることから、講義と平行して実際に看護活動が行われている現場で実習を行って学習を深めます。実習は学年の進行に合わせて段階的に行われ、その時間数や学習内容のウエイトも大きくなります。保健医療福祉分野における幅広い看護活動を学ぶため、病院や福祉施設、保健所等を実習場所としています。

特徴的な授業として、入学直後から医学部、薬学部、看護学部の学生で構成されるチームによる体験型学習を取り入れています。これにより将来の医療人としての素養を習得します。さらに3年生、4年生では、各自の興味ある看護現象の研究動向を把握し、研究的視点で看護を探究する能力を養います。

このようにして、本学部では、社会の要請に十分応えることのできる看護職者を育成するとともに、将来の看護の教育者、研究者、管理者として社会に役立つことを視野に入れて教育研究活動を行っています。

学びの環境



＜桜山キャンパス＞



＜葵校舎 学生ルーム＞



看護学部のある桜山キャンパスは、その名の通り名古屋市地下鉄桜通線桜山駅から徒歩ですぐにあります。大学の本部棟を始め、医学部及び附属病院と看護学部とその関連施設があり、医師・看護師などをを目指す学生が、勉強に実習に研究に専念できるよう、施設も環境も整ったキャンパスです。2023年度から葵校舎も看護学部の学びの場所に加りました。学生の皆さんは桜山キャンパスと葵校舎を行き来しながら学ぶことになります。葵校舎は桜通線高岳駅・車道駅から徒歩8分、東山線新栄町駅から徒歩5分と利便性の高さが魅力です。看護学実習は桜山キャンパス内にある附属病院をはじめとする名古屋市立大学医学部附属病院群や名古屋市の施設等で行います。

PICK UP 授業

1年 青柳 茉佑子さん



疾病治療論

この科目では前期の科目の「人体の構造」で身につけた知識(臓器の働きや代謝、消化のメカニズムなど)を基礎として様々な疾病の原因、検査、治療について学びます。普段大学病院で実際に働いている医師から直接講義を受ける機会が多くあり、とても貴重な経験になります。レントゲン画像やCT画像、症状の写真を見ながら学ぶため、疾病に対する具体的なイメージが非常に湧きやすく、様々な内容を関連付けて、今後臨床に出る時に必要となる知識を深めながら学ぶことができました。

2年 関原 颯音さん



基礎看護学実習Ⅱ

この実習は2年次の夏に行われるもので、1年生の実習で学んだ、対象者(患者)とのコミュニケーションや関わり方に加え、2年生前期で学習するフィジカルアセスメントや看護過程をもとにして対象者が現在どのような健康問題を抱えているのか、その問題が生活行動に影響が出ているのかを本格的に学んでいきます。実習では、教科書や参考者から得ること出来ない知識をつけることができたり、どのような看護をするのがよいかを先生だけではなくグループの仲間と協力することで、自分では気づけなかった点にも気づくことが出来たりと、技術面だけではなく協力することの重要さも学ぶことができました。

3年 白石 葉菜さん



臨地実習

3年生の後期には2週間ごとに様々な領域を回りながら看護について学び、実践する領域別の実習があります。受け持ち患者さんについて考え、関わる中で看護師

として必要な知識や技術を養っていきます。領域ごとに繰り返しアセスメントを行うことで、個性のある看護について考える力がついたと思います。急性期、慢性期、母性、小児、精神、在宅看護、高齢者看護など自分の興味が湧く分野、得意な分野など将来自分が携わりたい分野を見つけるきっかけにもなります。長期にわたる実習で大変なこともありますが、グループの仲間と支え合いながら学びを深めることができました。

4年 浅野 有咲さん



看護研究Ⅰ・Ⅱ

名古屋市立大学看護学部では、看護研究について学びます。3年次に看護研究Ⅰという講義で、研究の手法や流れなど研究の基本について学んだ後、4年次の看護研究Ⅱで自分が興味をもっている内容について実際に看護研究を行います。学生が研究を行った分野や手法も多岐にわたっていましたが、看護研究を進める中で難しいと感じたことや大変なこともありましたが、研究室の先生が手厚くサポートをしてくださったため、自ら選んだ研究テーマに対する理解を深めつつ最後までやり遂げることができました。

※2024年3月現在の学年を示します。

看護学部の4年間



1年生

合宿研修
 医学部・薬学部と連携した地域参加型体験学習
 教養教育と専門教育の講義
 初めての看護学実習

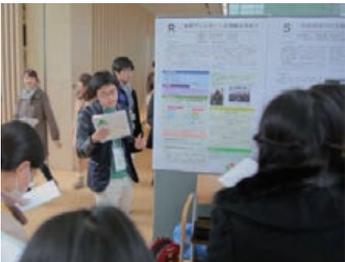


専門科目の開始
 2週間の看護学実習
 保健師コースの選抜

2年生

3年生

専門科目の講義と演習
 半年間の看護学実習
 研究Ⅰの開始:ゼミ分け
 保健師コースの学修開始
 進路ガイダンス
 インターンシップ活動



看護管理実習
 保健師実習
 就職試験
 看護研究発表会
 国家試験
 進学への準備

4年生

川澄祭

毎年秋に、桜山キャンパスで開催される学祭です。医学部と看護学部の学生が、企画から当日の運営まで行っています。手術体験や沐浴体験など、医療系ならではの企画が盛りだくさんです。小さなお子様から大人の方まで楽しめる内容となっていますので、ぜひお越しください。



クラブ&サークル

名古屋市立大学のクラブ・サークル活動としては、2024年3月現在、運動系のクラブ29・同好会13、文科系のクラブ22・同好会22が活動しています。以下はそのうち、ごく一部のご紹介です。

蝶ヶ岳ボランティア診療班

蝶ヶ岳ボランティア診療班は医師、看護師、薬剤師などのボランティアスタッフを募集して運営している蝶ヶ岳山頂の診療所において、夏期シーズンに問診やバイタル測定などの診療の手伝いをします。活動は山頂だけではなく週に一度、学生主体の勉強会を行っており、山について、また山頂で行う医療活動について学び、夏山に向けて準備をします。

私たちは蝶ヶ岳ボランティア診療班に入党し、学生のうちから患者さんと接する機会をもちました。そして医療者としてではなく、学生として何ができるのか考え、医療技術だけでなく、声掛けや小さな配慮が患者さんにとって安心感につながることに気づきました。また、現在様々な学部の学生が100名以上所属しており、学部、学年を超えた関わりをもつことができます。その中の一人として部活に所属することで、様々な価値観や考え方を吸収することができました。



バスケットボール部

バスケットボール部は、山の畑キャンパスにある体育館で活動しています。公式戦で一試合でも多く勝ち進むことを目標としており、週3日の限られた練習時間をできるだけ質の高いものにできるように、ひとつひとつの練習メニューの意図をよく理解しながら活動するように心がけています。目標に向かってチームのメンバーみなで一丸となって取り組むことは、バスケットボールにも看護にも共通するところだと思います。



日本拳法部

日本拳法部は、様々な学部から集まった四十数名の仲間と共に仲良く楽しく活動しています。日本拳法は大学から始める人がほとんどで、私達全員が入部当初は初心者でした。武道といっても防具をつけているので安全です。マネージャーでも防具を着けない運動には参加が可能です。さらに、女子部員の人数は中部地域で最大であり、看護学部の学生も多数在籍しています。

私たちは武道を通して体力、精神力を鍛えることができました。実習や授業の合間に自分のペースで参加をすることができ、リフレッシュになりました。さらに、先輩方や同期、後輩に支えられて、4年間最後まで続けることができました。



国際交流

看護学部では、交流提携校との間で学生が相互に行き来する交換研修を行っています。特にハルリム大学（韓国）とは2010年から交流が始まり、2023年には10周年記念となる交流事業を行いました。2012年から、継続的に学生派遣と受け入れを交互に行っており、2023年度は久しぶりに5名の学生が韓国での研修に参加しました。学生はお互いの大学の授業への参加、病院・保健所見学、文化交流などを経験しています。

その他、外国人研究者が来日・来学するさまざまな機会を積極的に活用し、国際的な視点からの特別講義を聞くことができるようにしています。看護学部には、グローバルヘルスに関心をもつ学生が活動するサークルもあります。このように、海外の人々と一緒に学ぶ機会も多く、誰もが国際交流に関わるチャンスがあります。



先輩からのメッセージ



浅井 花歩さん

- ・看護学部 2019年度卒業
- ・名古屋市立大学病院
看護師

私は名古屋市立大学を卒業し、名古屋市立大学病院の脳神経外科・内科病棟に就職しました。大変な場面が沢山ありますが、患者さんが元気でいられるように、努力しています。

名古屋市立大学病院で実習をほぼ履修でき、アクセスが良いため効率良く看護を学べました。また、国際交流として、ハレルム大学との交換留学プログラムがあり、韓国の病院での働き方や、看護学生の学ぶ姿勢を知り、日本の看護の在り方をより俯瞰的に知ることができました。海外の専門職について知る機会は中々ないので、交流はとても楽しかったです。実習や授業では先生方からの指導を受けながら生徒同士で意見を交換し合う事が多く、真剣に看護を学べる環境でした。同期とは、就職してそれぞれの道に進んでも、お互いが応援し合うような関係です。ぜひ色々な分野を学んで自分のしたい看護を考えてみてください。



鈴木 愛さん

- ・看護学部 2005年度卒業
- ・名古屋市 保健師

私は卒業後、名古屋市に就職し、保健師として働いています。地域を担当する本市の保健師は、あらゆる年齢の住民を対象に健康増進の活動をしています。住民に寄り添い、長期的な視点で健康づくりの支援ができること。また、健康を脅かす課題を解決するため、環境面へのアプローチとして市の事業や施策へつなげていけることが、行政保健師の魅力です。

本学は総合大学であり、学生時代は医療系に留まらず、大学活動を通して、多様な分野の学生との交流の場に恵まれました。また、看護学の学びを通し、「人の健康を守る」ことへの理解を深め、将来の職業人としての視野を広げることができました。そうした経験が、多様な価値観を持つ人々に寄り添い、支援をする保健師としての原動力になっています。



新田 真夕さん

- ・看護学部 2017年度卒業
- ・大学院看護学研究科
博士前期課程 助産学領域
助産師国家試験受験資格
取得コース 2019年度修了
- ・公立陶生病院 助産師

私は、名古屋市立大学の看護学部を経て、同大学の大学院へと進学し、助産師の資格を取得しました。名市大は公共交通機関からのアクセスが良いことや、大学病院にて実習を行わせていただけるため、通学や実習に関してとても充実していると思います。

大学院では専門分野のみならず、小児や急性期などの他分野も履修でき、その領域の専門家の方々との意見交換など貴重な経験もさせていただきました。助産学分野の学習に関しては、一人一人に真摯に向き合ったご指導から、とことん突き詰めることの大切さを学びました。

名市大は手厚いご指導に加えて、同じ道を志す仲間とともに様々な経験を積み、高め合うことができる場です。ぜひ楽しく学びを深めていってください。



遠藤 晋作さん

- ・看護学部 2007年度卒業
- ・大学院看護学研究科
博士前期課程
成育保健看護学専攻
2012年度修了
- ・大学院看護学研究科
博士後期課程
成育保健看護学専攻
2020年度修了
- ・名古屋市立大学大学院
看護学研究科 教員

私は名古屋市立大学看護学部を卒業後、名古屋市立大学病院へ就職し、病棟勤務の後、名古屋市立大学大学院へ進学、その後、教員となり、現在は母校である本学で仕事をしています。研究者として臨床現場の看護に活かせるような知見を見出すこと、教育者として看護の知識や技術を学生に伝え、一緒に「考える」ことが主な仕事です。

「考える」ことは、患者さんのニーズに沿った看護を提供する上で大切です。名古屋市立大学看護学部では、講義や演習、実習、さらには看護研究を通して、自主的にそれを身に付ける機会が多く得られます。私自身も日々学生と関わる中で、お手伝いできればと考えています。

また、同窓生の中には高い向上心や、影響力をもって活躍をされている方が多くおり、その繋がりを得られたことが、今の私の大きな財産になっています。

奨学金制度

経済的理由により修学困難な新入生を支援する名市大生スタート支援奨学金制度があります。また、多くの学生が利用している日本学生支援機構奨学金を始め、各種奨学金があります。詳細については、ホームページをご覧ください。

各種奨学金HP



授業料減免制度

国の高等教育修学支援制度の一つとして、日本学生支援機構の給付奨学金と同じ基準に該当する学生に対して、授業料の全額、2/3または1/3の額が免除される制度があります。

授業料減免HP



卒業後の進路

就職希望者の就職率は100%です。

看護師

- | | |
|---|---|
| <p>【名古屋市内】</p> <p>名古屋市立大学病院
 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター
 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
 名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院
 名古屋大学病院
 名古屋セントラル病院
 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
 名古屋医療センター
 大同病院
 名城病院
 南生協病院
 協立総合病院
 中部ろうさい病院 ほか</p> <p>【愛知県内】</p> <p>江南厚生病院
 安城更生病院
 刈谷豊田総合病院
 トヨタ記念病院
 一宮市立市民病院
 春日井市民病院
 小牧市民病院
 豊川市民病院
 豊田地域医療センター
 あいち小児保健医療総合センター
 藤田医科大学病院
 愛知医科大学病院 ほか</p> | <p>【愛知県外】</p> <p>岩手県医療局
 順天堂大学医学部附属浦安病院
 東京大学病院
 虎の門病院
 東京医科歯科大学病院
 東京都立松沢病院
 東京通信病院
 総合東京病院
 日本医科大学付属病院
 国立成育医療研究センター
 杏林大学医学部付属病院
 横浜市立大学附属市民総合医療センター
 組合立諏訪中央病院
 聖隷浜松病院
 総合病院聖隷三方原病院
 岐阜県立多治見病院
 大垣市民病院
 三重大学病院
 奈良県立医科大学附属病院
 国立循環器病研究センター
 近畿大学病院
 兵庫県立病院尼崎総合医療センター
 神戸大学病院
 神戸市民病院機構
 鹿児島大学病院</p> |
|---|---|

保健師

- | | |
|--|--|
| <p>【愛知県内】</p> <p>名古屋市
 愛知県、あま市
 蒲都市、高浜市
 豊川市、豊田市
 豊橋市、日進市
 半田市、扶桑町
 中部電力（株）
 トヨタ自動車（株）
 オリエンタル労働衛生協会</p> | <p>【愛知県外】</p> <p>岩手県
 岐阜県
 三重県
 京都府
 可児市
 浜松市
 京都市
 大阪市 ほか</p> |
|--|--|

進学

- 名古屋市立大学大学院看護学研究科*
- 愛知県立大学大学院看護学研究科
- 名古屋学芸大学別科助産学専攻
- 名古屋医療センター附属名古屋看護助産学校
- 名古屋医専看護分野助産学科
- 獨協医科大学助産学専攻科
- 静岡県立看護専門学校助産学科
- 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
- 岐阜県立衛生専門学校助産学科
- 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻
- 沖縄県立看護大学別科助産専攻

*名古屋市立大学大学院看護学研究科については、P.10以降をご覧ください。

国家試験合格状況 <<新卒者>>

	看護師				保健師			
	受験者数	合格者数	合格率	全国合格率	受験者数	合格者数	合格率	全国合格率
2020年2月	80名	80名	100%	94.7%	20名	20名	100%	96.3%
2021年2月	81名	81名	100%	95.4%	20名	20名	100%	97.4%
2022年2月	82名	82名	100%	96.5%	20名	20名	100%	93.0%
2023年2月	78名	78名	100%	90.8%	20名	20名	100%	93.7%
2024年2月	82名	81名	99%	93.2%	20名	20名	100%	97.7%

入試情報

看護学部の入試は、以下のようになっています。

	選抜方法
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト、学力検査（英語）、小論文、面接、調査書
学校推薦型選抜B	大学入学共通テスト、出願書類

大学入学共通テストで使用する科目は共通です。 <2025年度入試用>

教科	科目
国語	国語
地理歴史公民	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「地理総合、歴史総合、公共」（この中から2分野選択）、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」①
理科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」（この中から2分野選択）、物理、化学、生物、地学②
数学	「数学Ⅰ、数学A」
	「数学Ⅱ、数学B、数学C」
外国語	英語 ※2.
情報	情報Ⅰ

- ※1. ア「①の第1解答科目、②から2科目」、イ「①から2科目、②の第1解答科目」のうち、合計得点の高い組み合わせを合否判定に用いる。
 ・アにおいて、②で同一名称を含む科目の組合せを本学では認めない。よって②において同一名称を含む科目の組合せで解答した場合は、アを選択することができないため、イを合否判定に用いる。
 ・①と②において1科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第1解答科目に含める。
- ※2. 外国語の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。

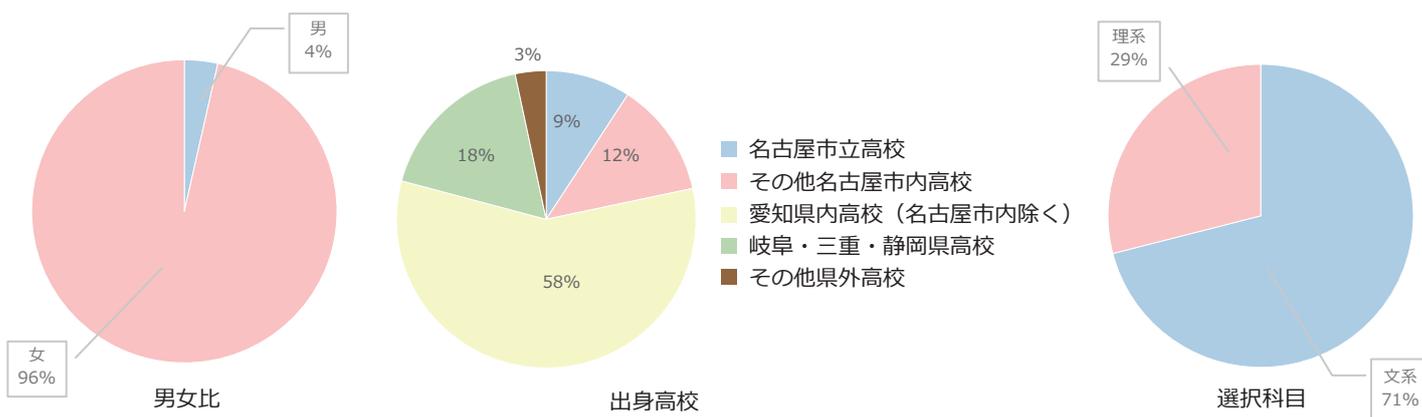
学部入試情報HP

*最新の情報は、ホームページをご覧ください。



データで見る看護学部生 (2024年4月現在)

- 男女比：圧倒的に女性が多いですが、男女共学ですし、男子学生も頑張っています。
- 出身高校：約80%が愛知県内の高校出身ですが、遠くは鹿児島や福岡の高校から入学している学生もいます。
- 選択科目：令和年度入学生の大学入学共通テストでの社会・理科科目の選択は、文系が約70%でした。



教育理念 教育目標

人間の尊厳を理解し、看護を通じて保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成する

博士前期課程：臨地における問題や課題に積極的に取り組む研究・実践能力を養う

博士後期課程：健康生活支援や新たなケアシステムに関する研究を通じて、看護学の学問的構築を推進できる優れた教育・研究者を育成する

アドミッション・ポリシーと各領域・教育研究分野／コースの編成

博士前期課程

《求める学生像》

- 豊かな人間性、柔軟な姿勢、ニーズを汲み取る感性、高い倫理観を持ちあわせている人
- 高度な看護実践能力をもって人々の健康生活支援に関わることにやりがいと使命感を感じている人
- 大学院で修得したことを基盤に、実践の場で問題を適切に解決していくリーダー的存在となる意志のある人
- 身に付けた幅広い知識や分析力をもって、多職種と連携し、チーム医療を推進する意志のある人
- 看護学の教育者・研究者・高度実践家をめざすために、十分な教育研究力を身につけようとする意欲にあふれる人
- 研究を遂行し、実践を探究するための自律性および向学の志が高い人

《修得しておくべき知識の内容・水準》

- 看護学をより深く学ぶために必要な学士課程卒業レベルの専門知識
- 共感的、援助的コミュニケーション能力
- 研究に関する基礎的知識
- 論文作成に必要な基礎的語学力並びに英語読解力

看護学領域	修士論文コース	性生殖看護学
		成育保健看護学
		クリティカルケア看護学
		周手術期看護学 ※2
		慢性看護学
		高齢者看護学
		先端医療看護学
		看護マネジメント学
		感染予防看護学
		精神保健看護学
助産学領域	修士論文コース	クリティカルケア看護学 ※3
		精神保健看護学
		周麻酔期看護師教育コース ※2
助産学領域	上級実践コース	助産学
		アドバンスコース
		助産師国家試験受験資格取得コース

check!

- ※1 クリティカルケア看護専門看護師教育コース、および精神看護専門看護師教育コースは、令和4年度から文部科学大臣が認定する職業実践力育成プログラム（BP：Brush up Program for professional）に認定されました。
- ※2 令和5年度から博士前期課程修士論文コースに周手術期看護学、上級実践コースに周麻酔期看護師教育コースを新設しました。周麻酔期看護師教育コースも職業実践力育成プログラムに認定されました。
- ※3 令和5年度4月1日からクリティカル看護学専門看護師コースは、厚生労働省専門実践教育訓練指定講座となりました。



博士後期課程

《求める学生像》

- 自らの問題意識を深め、倫理的配慮を含めて計画性を持って課題を探究していくことのできる人
- 看護実践から得た知見を生かし、論理的な思考に繋がられる人
- 修得した高度な教育研究能力を活用し、看護学・助産学の発展に貢献する意欲があり、看護学・助産学の教育研究職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 世界レベルの研究に目を向け、高い知的関心と粘り強さで、研究をやり遂げる意志のある人

《修得しておくべき知識の内容・水準》

- 希望する看護領域の専門的知識
- 看護学研究の遂行に必要な研究能力
- 英語文献講読、論文作成並びに発表に必要な語学力
- 自律した研究態度

健康支援看護学分野	性生殖看護学・助産学
	成育保健看護学
	クリティカルケア看護学
	周手術期看護学
	慢性看護学
	高齢者看護学
ケアシステム看護学分野	先端医療看護学
	看護マネジメント学
	感染予防看護学
	精神保健看護学
	在宅看護学
	地域保健看護学
	国際保健看護学

授業科目の特徴

授業科目は、教育研究分野と専攻支持科目群から構成されています。

教育研究分野科目

- **特 論** 健康をめぐる課題や問題状況をふまえて設定された各教育研究分野について、より深く探求するための知識を教授します。各教育研究分野の教員が担当する講義科目です。
- **演 習** 各教育研究分野における健康課題や問題を持つ対象者への看護実践に焦点を当て、研究文献を批判的に読み、事例を深く検討することなどを通して、各大学院生の研究疑問の設定につなげ特別研究へと発展させます。大学院生の報告をもとに授業が行われます。
- **特別研究** 専攻する教育研究分野における研究疑問について、指導教員のもとでそれぞれに適した研究方法を検討し、研究計画を立案して研究を実施し、修士論文にまとめる過程を指導します。大学院生の研究能力の開発を図る科目です。
- **課題研究** 専攻する教育研究分野（コース）における実践を通して研究課題を明確にし、適切な研究方法を用いて研究結果を引き出し、その成果物として課題研究論文にまとめる過程を指導します。

専攻支持科目群

看護学一般の知識や深化を促す科目や研究の方法論、隣接諸科学の理論やスキルに関わる科目などが用意されています。

- ・理論看護学 ・看護倫理学 ・疫学適用論 ・臨床生理学 ・法医診断学 ・看護学研究方法論 ・コンサルテーション論
- ・がん看護論 ・看護教育論 ・病態生理学 ・看護政策論 ・臨床薬理学 ・緩和ケア看護論 ・フィジカルアセスメント

修了要件

下記の単位を修得し、修士論文（課題研究成果物）の審査と最終試験に合格する必要があります。

領域／研究分野		必要単位数				
		教育研究分野科目	特別研究または課題研究	他分野の特論・専攻支持科目群	合計	
看護学領域	修士論文コース	4以上	特別研究8	18以上	30以上	
	専門看護師教育コース	24	課題研究4	14以上	42以上	
	上級実践コース	28	課題研究4	23以上	51以上	
助産学領域	修士論文コース	4以上	特別研究8	18以上	30以上	
	上級実践コース	アドバンスコース	8以上	課題研究4	18以上	30以上
		国家試験受験資格取得コース	43以上	課題研究4	14以上	61以上

年間スケジュール

一般履修生	1年次					2年次						
長期履修生	1～2年次					3年次						
時 期	4月	6月	9月	11月	2月	4月	9月	10月	1月	2月	3月	
学 事	● 前期授業開始 ● 履修登録（前期・通年科目） ● オリエンテーション	● 研究仮テーマ提出 ● 副指導教員決定	● 後期授業開始 ● 履修登録（後期科目）	● 研究計画書提出	● 研究中間報告書提出	● 前期授業開始 ● 履修登録（前期・通年科目）	● 後期授業開始 ● 履修登録（後期科目）	● 論文審査願提出	● 論文提出	● 論文審査・最終試験	● 修了式 ● 学位授与 ● 論文発表会	
	教育研究分野科目履修					他分野の特論・専攻支持科目群履修						
						特別研究・課題研究						

大学院生活の実際

看護学研究科には、仕事を続けながら学修する社会人大学院生も多く在籍します。どのように仕事と学業を両立させているのか、どのような大学院生活を送っているのかなどを紹介します。



尾藤里帆さんの場合

看護学領域 慢性看護学分野
長期履修制度を利用、2023年度修了

看護学部卒業後、看護師として大学病院に就職。病棟勤務の中で、経験だけに頼らない論理的思考や根拠のある看護・教育に関心が高まり、

就職6年目で大学院に進学。学修と臨床看護を相互に生かすため、長期履修制度を利用し常勤(3交代)を継続しながら通学しました。大学院では先生方や院生に支えられながら発展的分野や研究手法の学修を深め、社会人・看護師として成長を実感でき、貴重な時間を過ごすことができました。

●1年次の時間割 (前期)

	月	火	水	木	金
1限			夜勤 (1:00 ~9:00)		日勤
2限				看護学研究 方法論	
3限	日勤	日勤	慢性看護学 特論	緩和ケア看 護論	
4限					
5限			精神看護学 特論		
6限					病態生理学
7限					

※1週間の勤務スケジュールは一例、土日どちらかは勤務。

●1年次の時間割 (後期)

	月	火	水	木	金
1限				コンサルテーショ ン論	
2限	クリティカルケア 看護学演習		クリティカルケア 看護援助特論Ⅰ		
3限	臨床薬理学		クリティカルケア 看護援助特論Ⅱ		クリティカルケア 看護援助特論Ⅱ
4限					
5限					
6限					看護教育論
7限					



内山裕斗さんの場合

看護学領域 クリティカルケア看護学分野
専門看護師教育コース
長期履修制度を利用、2023年度修了

看護専門学校卒業後、看護師として総合病院救命救急センターに就職。7年の臨床経験を経て、

急性・重症患者看護専門看護師の資格取得を志して大学院に進学しました。長期履修制度を活用し、変則勤務等の職場の協力を得ながら常勤として働きながら通学しました。指導教員、院生間でのディスカッションや他病院での実習を通して、臨床のみでは得られない新たな学びを深められたことを嬉しく思っています。

●1年次の時間割 (前期)

	月	火	水	木	金
2限	クリティカルケア 看護学特論	ライフサイクル 健康支援論	助産学演習Ⅳ		成育保健看護学 特論
3限	フィジカルアセス メント	看護倫理学	助産学演習Ⅰ	助産学概論	助産マネジメント 論
4限			助産学演習Ⅱ	助産診断技術特論 Ⅰ	助産診断技術特論 Ⅱ
5限			助産学演習Ⅲ	助産実践演習Ⅰ	助産実践演習Ⅱ
6限	地域保健看護学 特論		国際保健看護学 特論	看護学研究方法論	感染予防看護学 特論
7限				性生殖看護学特論	



豊島舞さんの場合

助産学領域 助産師国家試験受験資格コース
2022年度修了

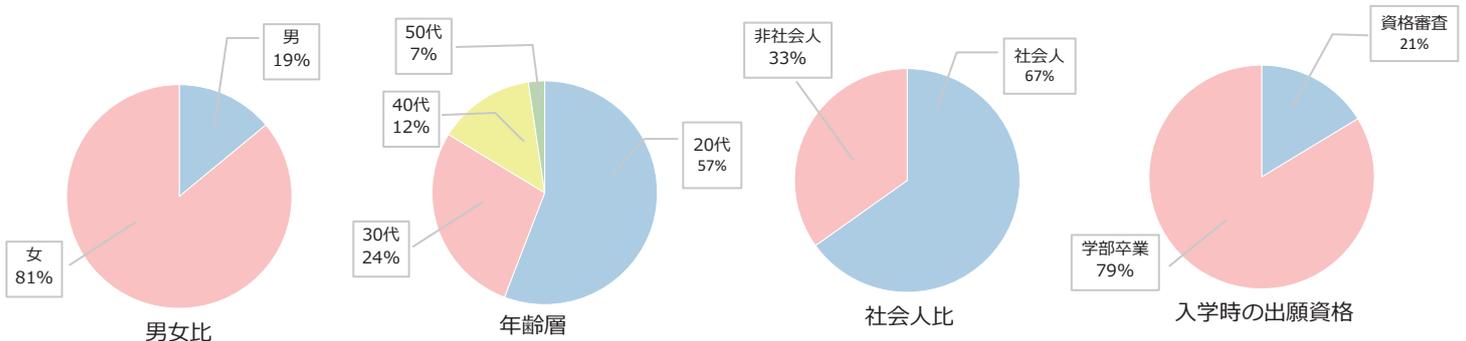
名古屋市立大学看護学部卒業後、助産師資格取得のため、大学院に進学しました。1年次前期は講義・実技科目を履修し、1年次後期から2年次前期は実習に臨みました。取得単位数が多いため、空きコマを利用して実習に向けての実技練習に取り組みました。2年次には他に、パパママ教室の開催や研究活動などを行いました。授業では、社会人学生と一緒に学ぶ機会も多く、臨床実践の様子も知ることができ、良い経験となりました。

データで見る大学院生

大学院博士前期課程には、幅広い年齢層とさまざまな経歴を持つ学生が在籍しています。(令和5年4月現在)

- 男女比：在学生の約19%が男性です。
- 年齢層：博士前期課程全体の平均年齢は31歳。20代から50代まで幅広い年齢層の学生が在籍しています。※入学時の年齢
- 社会人：看護学領域の学生は、ほぼ全員が社会人か、社会人経験があります。
- 出願資格：在学生のうち約21%は、出願時に資格審査を受けて受験資格を得ています。

(看護学校や看護専門学校、看護短大等を卒業し、臨床経験を積んだ人たちです。)



授業科目の特徴

授業は、教育研究分野科目と支持科目群から構成されています。

●特講および特講演習

個別の研究課題について、高度な専門性を修得させることを目的として、教育研究分野ごとに特講・特講演習を開講します。

また、それらとは別に、研究内容・方法の補強のために、支持科目の特講も開講します。

●特別研究

専攻する教育研究分野における研究を指導し、学位論文の作成を支援します。

履修方法及び修了要件

3年（優れた研究業績をあげた者にとっては2年）以上在学して、教育研究分野から指導教員の担当する特講2単位、特講演習2単位及び特別研究を含む12単位並びに他の分野及び支持科目群から特講2単位以上、計18単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出し、その論文の審査及び最終試験に合格することが修了要件となります。

なお、働きながら履修する場合などは、修業年限を超えて履修を行う長期履修制度を利用できます。

年間スケジュール

時期	1年次				2年次				3年次					
	4月	6月	9月	2月	4月	9月	10月	12月	4月	9月	10月	1月	2月	3月
学事	●入学式 ●オリエンテーション ●履修登録(前期・通年科目) ●前期授業開始	●副指導教員決定	●履修登録(後期科目) ●後期授業開始	●研究実施状況報告書提出	●履修登録(前期・通年科目) ●前期授業開始	●履修登録(後期科目) ●後期授業開始	●予備審査願 ●予備審査論文提出	●予備審査	●履修登録(前期・通年科目) ●前期授業開始	●履修登録(後期科目) ●後期授業開始	●博士論文審査願 ●博士論文の概要提出	●博士論文提出	●博士論文審査および最終試験	●論文発表会 ●修了式 ●学位授与

これまでの博士論文題目の例

- 無精子症告知を受けた夫婦への看護支援モデルに関する研究 -当事者男性の心理と妻の困惑・葛藤に着目して-
- 介護老人保健施設において看護師が実施する聴カアセスメントとコミュニケーションに関する研究
- 医療施設内結核感染予防のための結核健診受検職員の継続支援システムの構築に向けた研究
- 循環器疾患患者におけるせん妄ケアの質の向上を目指した看護師に対する教育的戦略
- 先天性心疾患をもつ学童期までの子どもに対して母親が行う病気説明の構造
- 乳幼児をもつ母親の自己肯定感を高め母親役割を促進するプログラムの開発
- 救急場面における患者家族の特性・看護師の能力・システムの相互関係
- 救急・集中領域で終末期を迎える患者の看護に関する教育の検討
- 中年労働者における認知症予防を意識した健康行動に関する研究
- 救急看護師の臨床判断の実態と臨床判断能力育成に関する研究
- 採血を受ける2歳未満の子どもと母親への支援モデルの開発
- 心臓・胸部大血管手術後の手術部位感染予防に関する研究
- 女性高齢清掃員における就労中の転倒要因に関する検討
- 女性の酸化ストレス度と抗酸化力に関する研究



論文発表会の様子

在学生からのメッセージ



2年 Yusi Riwayatul Afsahさん ケアシステム看護学分野 国際保健看護学専攻

私は自分が追及したい研究テーマ“子宮頸がん受診行動の阻害要因”を専門にしている教員がいたこと、指導教員の指導やゼミ、講義から自分が体得したいものが多くあると考え、名古屋市立大学看護学研究科を選びました。ゼミや演習、講義はすべて英語で行われており、国際看護学分野の研究を行うゼミ生やスーパーバイザーとの刺激的なディスカッションから毎日多くを学んでいます。日本の教育、学務システムに慣れるのも大変ですが、先生や事務職員から親切にいただき充実した研究生活を送っています。

教育研究分野について

※各教員連絡先メールアドレスの後には@med.nagoya-cu.ac.jpをつけてください。

教育研究分野

担当教員名・連絡先メールアドレス

研究分野の紹介

性生殖看護学・助産学

教授	脇本寛子	e-mail: wakimoto	女性の一生を通じた健康への支援や子どもを産み育てる女性とその家族への支援を探求します。周産期の感染予防、感染症妊産褥婦へのケアを探求します。
教授	尾崎康彦	e-mail: yozaki	生殖や産科ケアにおける「不妊症・不育症」、「災害時・病院前分娩」、「胎動」、「バイオマーカー」や「リカレント教育」に関わる研究を展開します。
准教授	保田ひとみ	e-mail: boda.hi	新しい家族を迎える母親・父親およびその家族への支援を妊娠期から育児を見据えて探求します。思春期や更年期にある人への支援についても探求します。

成育保健看護学

教授	山邊素子	e-mail: sakura33	大学病院の小児科、ICUで看護師として9年間、保健師の教育経験もあります。小児看護、在宅ケア、不登校をテーマに量的・質的研究の経験があります。
准教授	大橋麗子	e-mail: reiko	多様な状況下における子どもと家族の主体性を尊重した看護の可能性を探求します。新生児から青年期、家族看護、学校保育所看護などが研究の対象です。
准教授	遠藤晋作	e-mail: s-endo	子どもに対する看護実践の中にある課題や、病気をもつ子どもやその家族を理解するために基盤となる概念について、研究を通して探求していきます。

クリティカルケア看護学

教授	中村美鈴	e-mail: nmisuzu	クリティカルな患者・家族の回復を促すケア、重篤化の予防、End of Life Careに向けて高度実践看護を行うための諸理論、ケア方法、治療環境について探究します。
----	------	-----------------	---

周手術期看護学

教授	明石恵子	e-mail: akashi	治療の選択肢として手術の可能性が提示された時から、手術を受け、社会復帰に至るまでの患者の体験やその期間に必要なとされる看護を探求します。
----	------	----------------	--

慢性看護学

教授	安東由佳子	e-mail: yukakoa	がん、生活習慣病（糖尿病、慢性腎臓病、心不全等）、難病等の慢性疾患患者や家族に関する研究を中心に、慢性疾患をもつ高齢者の研究も実施しています。
----	-------	-----------------	---

高齢者看護学

教授	平田弘美	e-mail: hirata	BPSD（特に攻撃的行動）のある認知症高齢者をケアする看護師・介護士のストレスやバーンアウト、離職との関連について研究しています。
准教授	小山晶子	e-mail: a-koyama	服薬支援や認知症の分野を中心に、高齢者に対する医療・ケアが抱える問題を明確化し、改善するための実践的な研究・教育を行います。

先端医療看護学

教授	加古英介	e-mail: ekako	麻酔科医として集中治療、痛み治療、無痛分娩等に関わっています。特に循環、神経などが近年の研究分野です。診療看護師教育にも力を入れています。
教授	窪田泰江	e-mail: yasuekbt	排尿に関する泌尿器科学分野を中心とし、要介護高齢者に対する新たなデバイスを用いた排泄管理の研究などを行なっています。
教授	鏡裕行	e-mail: kagami	諸現象の数理モデルによる解明を目指します。数理モデルの検証のため、測定等によるデータ取得、統計的解析を行います。研究成果をヘルスケアに応用します。

教育研究分野について

※各教員連絡先メールアドレスの後には@med.nagoya-cu.ac.jpをつけてください。

教育研究分野
担当教員名・連絡先メールアドレス

研究分野の紹介

看護マネジメント学

教授 梶野香苗 e-mail: momino

がん患者およびその家族のQOL向上や、看護師および看護管理者の人材育成・能力開発に貢献できるような研究を目指しています。

准教授 宮内義明 e-mail: y-miya

特定健診などの保健データや、電子カルテなどの医療・看護情報の利活用を目指し、ベイジアンネットワークなどの確率的モデリングを探索しています。

准教授 秋山直美 e-mail: nakiyama

安全で質の高い医療を提供するために看護が果たす役割を明らかにし、看護サービスの評価・改善の方法を探究します。管理に興味のある方、歓迎します。

感染予防看護学

教授 矢野久子 e-mail: yanohisa

感染予防は、健康に生活するために不可欠なことです。個人または集団に対して、看護学の視点から医療関連感染の予防を探索します。

准教授 安岡砂織 e-mail: syasuoka

感染予防看護学では、患者さんおよび病院職員等、医療に関わるすべての人を感染から守るために、様々な研究手法を用いて看護学の視点で探索します。

精神保健看護学

教授 香月富士日 e-mail: katsuki

精神疾患をもつ方やそのご家族がリカバリーの理念に沿った人生を歩むための支援方法や、看護職のメンタルヘルス向上のための研究を行います。

教授 谷向 仁 e-mail: tanimuki

精神疾患を生物ー心理ー社会の視点で捉え、多職種で治療・ケアに取り組むことが大切です。精神科医として臨床に活かせる研究をサポートします。

在宅看護学

教授 秋山明子 e-mail: akiyama

自然共生しながら健康で安心して暮らせるまちづくり、地域包括ケアの充実をテーマとした研究活動を行っており、研究成果の社会実装を目指します。

准教授 井上高博 e-mail: t-inoue

離島に住む高齢者の健康促進の焦点を当て、長寿社会実現へ向けた調査研究に取り組んでいます。

地域保健看護学

教授 門間晶子 e-mail: akado

地域で暮らす人々の生活・健康に関する現象、人々や環境の相互作用、看護職者の活動について、新たな発見と提案につながる研究を支援します。

准教授 尾崎伊都子 e-mail: itsuko

地域保健活動の対象となる人や組織、コミュニティの健康状態の改善のための支援方法を探索します。

国際保健看護学

教授 樋口倫代 e-mail: michiyoh

社会疫学的アプローチを用いて、国際的視点を持って、健康における公正を目指した研究を行います。フィールドは国内外を問いません。

教授 金子典代 e-mail: noriyok

健康行動学、ヘルスプロモーションを基盤とし、マイノリティ集団の健康改善に資する研究を行います。詳細は<https://ncuintl.jp/>をご覧ください。

准教授 江啓発 e-mail: keihatsu

国内外のパブリックヘルスの課題に、予防の視点から挑み、疫学・統計学の専門知識を活かして、人間社会の健康増進に寄与するヒントを探ります。

修了生からのメッセージ

大学院修了直後の勤務先の種類・職種別一覧

〈過去10年間〉



谷 彩乃 さん

博士前期課程 成育保健看護学分野
2020年度修了
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
看護師

大学卒業時から携わっている小児看護の知見を深めるため、NICU（新生児集中治療管理室）で勤務しながら大学院へ通いました。

仕事後や休日に授業やゼミを受講するのは大変でしたが、長期履修制度を活用し自分のペースで学ぶことができました。大学院で学んだ様々な知見や研究は、目の前の子どもたちへすぐに還元でき、日々やりがいと達成感を感じながら臨床へ活かすことができています。

勤務先の種類・職種		博士前期	博士後期
大学病院	看護師	13名	
	助産師	13名	
総合病院	看護師	27名	2名
	助産師	46名	
専門病院	看護師	6名	1名
	助産師	3名	
診療所・助産所	看護師	1名	
	助産師	5名	
看護系大学	教員	28名	13名
看護専門学校	教員	3名	
地方自治体	保健師	6名	
企業	保健師	3名	
大学	保健師	1名	
進学		6名	
その他		13名	3名



小塚 亜矢 さん

博士前期課程 看護マネジメント学分野
2023年度 修了
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター
看護師・副看護部長

看護専門学校卒業後、看護師として総合病院に就職。20年の臨床経験の中で、経験則に偏った自己の看護管理に課題を感じ大学院に進学しました。長期履修制度を活用し、働きながら通学しました。

指導教員、院生間でのディスカッションの中で、理論や先行研究と照らし合わせて思考し、仮説をたて検証するプロセスを通して、看護管理を経験則ではなく一般化することを学びました。後進育成を行う上で、今後の原動力を得ることができています。



仙田 裕子 さん

博士前期課程
地域保健看護学分野
2023年度 修了
千種区東部いきいき支援センター
保健師

私は行政保健師の経験の後、地域包括支援センター保健師として働いています。

地域包括支援センターでの業務は、医療的な視点から本人の意思や生活を考慮した支援ができること、個別支援だけでなく顔の見える関係性から介護予防や地域づくりが行えるなど魅力が多くあります。

大学院での学びは、専門分野の探求だけでなく看護教育や看護研究など多くの学びを得ることができました。さまざまな領域の院生と意見交換することができ、志の高い看護職者との交流はとても刺激になりました。

また、交通の便が良く働きながらも通いやすいこと、年齢を重ねてからでも学ぶ機会が得られたこと、先生方の手厚いご指導をいただけたことに感謝しています。



吉野 亜沙子 さん

博士前期課程および後期課程
国際保健看護学分野
2022年度 修了
名古屋市立大学大学院看護学研究科
国際保健看護学分野 助教

私は、海外での看護師としての就労経験をキャリアに活かすために大学院へ進学しました。博士前期課程で研究の

面白さを知り、研究を発展させるために後期課程へ進学しました。就学中は、出産、育児、海外への引っ越し、コロナ感染症など、大変でした。しかし、学内の奨学金を獲得したことで、研究に集中でき、無事に就業年数以内に修了できました。就学中は、国連でのフェローシップも経験でき、とても充実していました。修了後は、1年間の研究員を経て、現在は助教として働いています。日本へ帰国しても、大好きな海外と繋がっていただけるこの環境・キャリアパスに大満足です。興味がありましたら、躊躇せず、ぜひ挑戦してみてください。

大学院を目指す方へ

令和7年度入学試験スケジュール

	1回目	2回目※
入試日程発表	4月	
募集要項公表	5月	10月
Web入試説明会	5月11日(土) ・ 11月5日(火)	
資格審査申請*	7月	11月
出願	8月	12月
試験日	9月21日(土)	1月25日(土)
合格発表	10月2日(水)	2月5日(水)

※2回目の入試は、1回目の入試で定員に満たない場合のみ実施します。
 *看護短期大学や看護専門学校等を卒業後、一定期間の臨床経験などの業績がある場合は、資格審査を受けることで、大学院受験の機会を得ることができます。

昼夜開講制

仕事を続けながら大学院進学ができるように、平日に6時限(17:50~19:20)、7時限(19:30~21:00)を設け、必要に応じて土曜日にも開講し、標準修業年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)で修了できるように授業を行います。ただし、助産学分野の助産師国家試験受験資格取得コースに関わる科目は、すべて昼間の開講となります。

長期履修制度

職業、家事、育児、介護などの事情をもつ学生のために、標準修業年限を超えた年数で履修できる制度です。授業料は、標準修業年限の学生が負担する額を、長期履修の期間で按分した額が年額となります。

●助産師国家試験受験資格取得コースは、長期履修制度の対象外です。

遠隔講義の実施

仕事を続けながら大学院に通っている学生のために、自宅や職場から受講することが可能な遠隔講義を導入しています。

入学金

本学大学院看護学研究科博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院看護学研究科博士後期課程に進学する場合、入学金は免除となります。

大学院修了直後の勤務先の種類・職種別一覧

〈過去10年間〉

勤務先の種類・職種		博士前期	博士後期
大学病院	看護師	16名	
	助産師	16名	
総合病院	看護師	31名	2名
	助産師	46名	
専門病院	看護師	6名	1名
	助産師	3名	
診療所・助産所	看護師	1名	
	助産師	5名	
看護系大学	教員	29名	14名
看護専門学校	教員	3名	
地方自治体	保健師	7名	
企業	保健師	3名	
大学	保健師	1名	
進学		7名	
その他		13名	4名

科目等履修生・看護実践スキルアップコース

大学院入学前に科目等履修生の制度を利用して、大学院の授業を履修することができます。

概要

看護実践スキルアップコースは、科目等履修生として本コースの対象となる科目の中から2科目以上履修し、担当教員の指導のもと“ケーススタディ”を行った方に修了証を交付するものです。本コースを受講することにより、大学院の科目履修に加えて、臨床における課題に取り組むケーススタディの方法を身につけることができます。

また、大学院への進学をご検討されている方には、本研究科の教員や大学院生との学びを通して、大学院生活をイメージできるようになります。スキルアップコースにおいて修得できる単位は、大学院に入学した場合に既修得単位として認められるものが含まれます。

●看護実践スキルアップコースは、令和4年度から職業実践力育成プログラム(BP)に認定されました。

看護実践スキルアップコース修了者の声

Q 看護実践スキルアップコースを修了してから、大学院の専門看護師(CNS)教育コースに入学されたと聞いています。看護実践スキルアップコースを受講してみてもいかがでしたか？



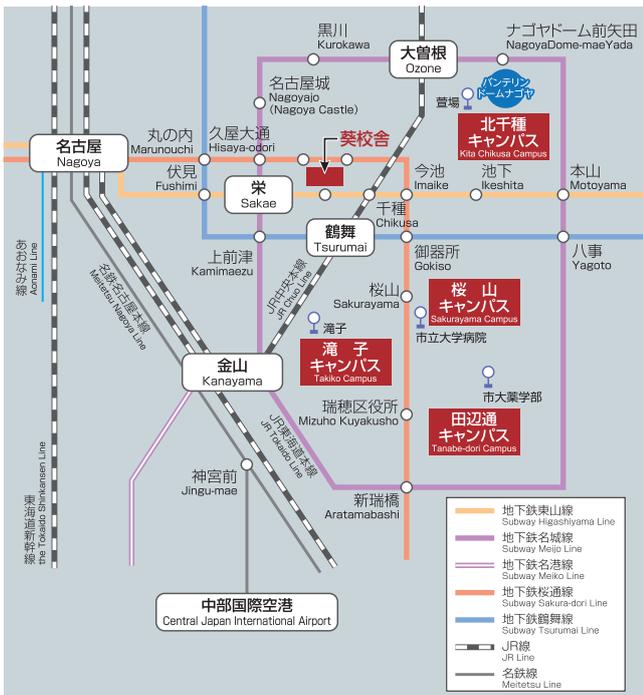
A 私は、学校で学ぶことから離れ随分経っておりましたので、大学院進学がとても不安でした。看護実践スキルアップコースでの一年間は、その不安をなくし、大学院進学に向かって思い切って一歩を踏み出すきっかけとなりました。

*その他詳細は、ホームページをご覧ください。

看護実践スキルアップコースHP



■ 交通のご案内



- 滝子キャンパス：教養教育科目（看護学部）
- 桜山キャンパス：専門教育科目（看護学部）
大学院看護学研究科
- 葵校舎：専門教育科目（看護学部）

桜山キャンパスへのアクセス

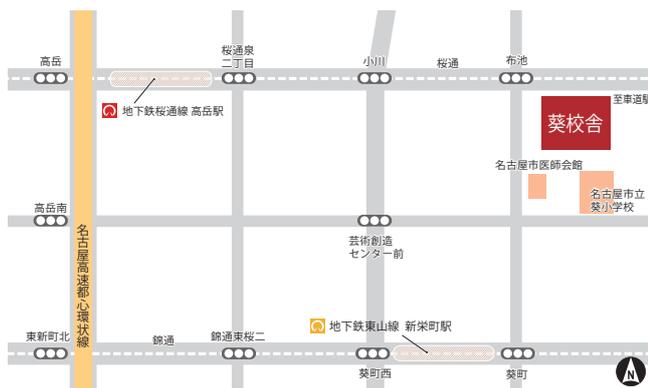
- 名古屋市営地下鉄 桜通線「桜山」駅下車3番出口すぐ
- 名古屋市バス 金山総合駅市バスターミナルから
金山12・金山14系統で「市立大学病院」下車、
または、金山11・金山16系統で「桜山」下車

■ 桜山キャンパス



- ①看護学部棟
- ②西棟講義室・実習室
- ③名古屋市立大学病院
- ④地下鉄桜通線 桜山駅3番出入口

■ 葵校舎



葵校舎へのアクセス

- 名古屋市営地下鉄 桜通線「車道」駅下車4番出口徒歩8分
- 名古屋市営地下鉄 桜通線「高岳」駅下車3番出口徒歩8分
- 名古屋市営地下鉄 東山線「新栄町」駅下車2番出口徒歩5分

NC 名古屋市立大学
看護学部
大学院看護学研究科

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1（桜山キャンパス）
TEL: 052-853-8037 FAX: 052-852-4641
E-mail: nursjimu@sec.nagoya-cu.ac.jp
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/>

ホームページQR



2024年5月発行